

IB番号 IB No.	IB-68992-L
形名 Model	AJ65SBTB1-8T-U

**●安全上のご注意●**  
(ご使用前に必ずお読みください)

本製品のご使用に際しては、本マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対する十分な注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本マニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみについて記載したものです。シーケンサシステムとしての安全上のご注意に関しては、使用するCPUユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

この「安全上のご注意」では、安全注意事項のランクを「△警告」、「△注意」として区分しております。

△警告 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

△注意 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、△注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときで読むよう大切に保管すると共に、必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

**[設計上の注意事項]**
**△警告**

●データリンクが交信異常になったとき、交信異常局は次のような状態になります。交信状態情報を使って、システムが安全側に働くようにシーケンスプログラムなどでインターロック回路を構成してください。誤出力、誤動作により事故の恐れがあります。

(1)リモートI/O局からの入力は、全点OFFします。

(2)リモートI/O局からの出力は、全点OFFします。

●リモートI/Oユニットの出力によっては、出力がONの状態を保持したり、OFFの状態を保持することができます。重大な事故につながるような出力信号については、外部で監視する回路を設けてください。

**△注意**

●ユニットは、CPUユニットユーザーズマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。範囲外の環境で使用すると、感電、火災、誤動作、製品の損傷、あるいは劣化の原因になります。

●制御線や通信ケーブルは、主回路や動力線と束縛したり、近接したりしないでください。100mm以上を空距として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

●各端子ケーブルのコネクタは端子部に確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

●ユニットの導電部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

●ユニットは、DINレールまたは取付けネジにて、確実に固定し、取付けネジは規定トルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、破損、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落下、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

●FG端子は、シーケンサ専用のD種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作の恐れがあります。

●空き端子ネジは必ず締付けトルク範囲（0.42～0.50N・m）で締め付けてください。圧着端子と短絡する原因になります。

●圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先端開口圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

●ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

●端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●ユニット内に切片やクリップなどの異物ががらりないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

●ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

**△注意**

●取扱い上での注意事項は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。感電またはユニットの故障や誤動作の原因になります。

**△注意**

●各端子は、直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

●ユニットは、DINレールまたは取付けネジにて、確実に固定し、取付けネジは規定トルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、破損、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

●FG端子は、シーケンサ専用のD種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作の恐れがあります。

●空き端子ネジは必ず締付けトルク範囲（0.42～0.50N・m）で締め付けてください。圧着端子と短絡する原因になります。

●圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先端開口圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

●ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

●端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●ユニット内に切片やクリップなどの異物ががらりないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

●ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

**△注意**

●配線作業は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。感電またはユニットの故障や誤動作の原因になります。

**△注意**

●各端子は、直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

●ユニットは、DINレールまたは取付けネジにて、確実に固定し、取付けネジは規定トルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、破損、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

●FG端子は、シーケンサ専用のD種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作の恐れがあります。

●空き端子ネジは必ず締付けトルク範囲（0.42～0.50N・m）で締め付けてください。圧着端子と短絡する原因になります。

●圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先端開口圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

●ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

●端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●ユニット内に切片やクリップなどの異物ががらりないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

●ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

**△注意**

●配線作業は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。感電またはユニットの故障や誤動作の原因になります。

**△注意**

●各端子は、直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

●ユニットは、DINレールまたは取付けネジにて、確実に固定し、取付けネジは規定トルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、破損、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

●FG端子は、シーケンサ専用のD種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作の恐れがあります。

●空き端子ネジは必ず締付けトルク範囲（0.42～0.50N・m）で締め付けてください。圧着端子と短絡する原因になります。

●圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先端開口圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

●ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

●端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●ユニット内に切片やクリップなどの異物ががらりないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

●ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

**△注意**

●配線作業は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。感電またはユニットの故障や誤動作の原因になります。

**△注意**

●各端子は、直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

●ユニットは、DINレールまたは取付けネジにて、確実に固定し、取付けネジは規定トルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、破損、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

●FG端子は、シーケンサ専用のD種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作の恐れがあります。

●空き端子ネジは必ず締付けトルク範囲（0.42～0.50N・m）で締め付けてください。圧着端子と短絡する原因になります。

●圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先端開口圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

●ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

●端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●ユニット内に切片やクリップなどの異物ががらりないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

●ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

**△注意**

●配線作業は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。感電またはユニットの故障や誤動作の原因になります。

**△注意**

●各端子は、直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

●ユニットは、DINレールまたは取付けネジにて、確実に固定し、取付けネジは規定トルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、破損、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落とし、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●各端子ケーブルのコネクタは確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

●FG端子は、シーケンサ専用のD種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作の恐れがあります。

●空き端子ネジは必ず締付けトルク範囲（0.42～0.50N・m）で締め付けてください。圧着端子と短絡する原因になります。

●圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先端開口圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

●ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください

## 3. 仕様

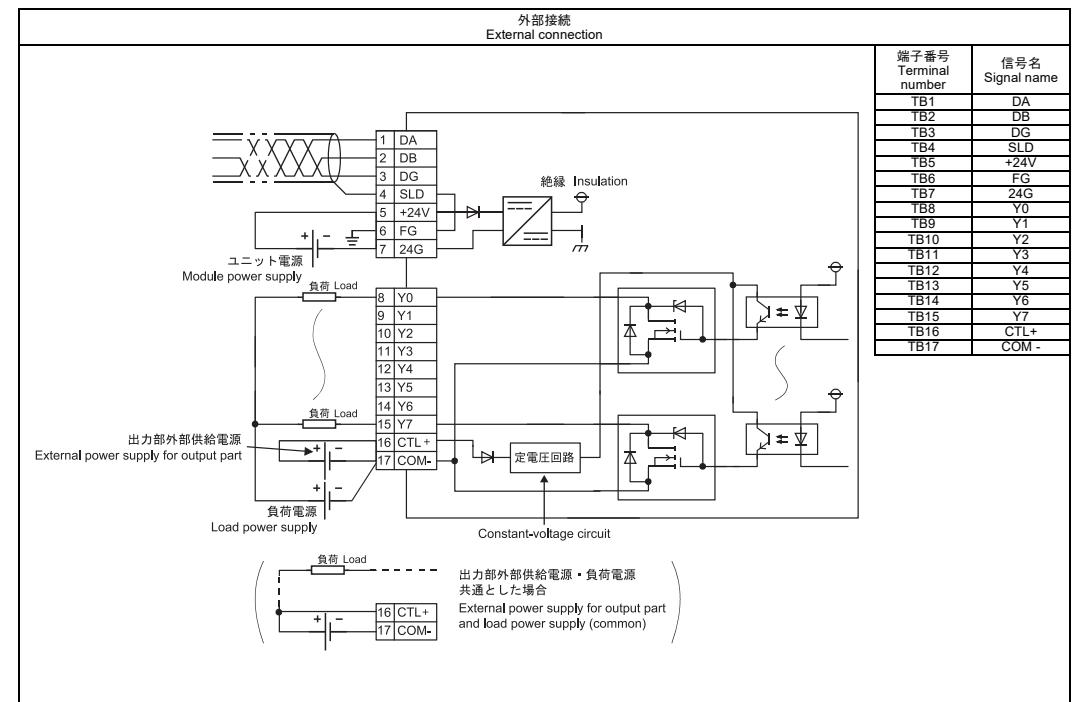
項目	内容
出力点数	8 点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧	DC12~24V (リップル率5%以内)
使用負荷電圧範囲	DC10.2~26.4V
最大負荷電流	0.5A/1点、2.4A/1コモン
最大入力電流	1.0A、10ms以下
OFF持続電流	0.25mA 以下
ON 時最大電圧降下	DC0.3V 以下 (TYP.) 0.5A, DC0.6V 以下 (MAX.) 0.5A
出力形式	シンクタイプ
保護機能	過負荷保護機能、過電圧保護機能、過熱保護機能
応答時間	OFF→ON 0.5ms 以下 ON→OFF 1.5ms 以下 (抵抗負荷)
電圧	DC12~24V (リップル率5%以内) (許容電圧範囲 DC10.2~26.4V)
外部供給電源	15mA 以下 (TYP. DC24V, 1コモン当たり) 外部負荷電流は含まず
サージキラー	ツエーラータイプ
コモン方式	8点 1コモン (電子式形態 1線式)
占有局数	1局 32点割付け (8点使用)
ユニット電源	DC24V (リップル率5%以内) (許容電圧範囲 DC20.4~26.4V)
電圧	35mA 以下 (DC24V, 全点 ON 時)
ノイズ耐量	DCタップのノイズ電圧 500Vp-p、ノイズ幅 1μs ノイズ周波数 2~60Hz のノイズシミュレータによる
耐電圧	DC 外部端子一括アース間 AC500V 1分間
絶縁抵抗	DC 外部端子一括アース間 DC500V 絶縁抵抗にて 10MΩ 以上
保護等級	IP2X
質量	0.14kg
通信部、ユニット電源部	7点 2ビース端子台 [伝送回路、ユニット電源、FG] M3×5.2ネジ 適合圧着端子の插入枚数は 2枚以内
外部接続方式	10点車両側端子台 [入出力端子、I/O 信号] M3×5.2ネジ 適合圧着端子の插入枚数は 2枚以内
ユニット取付けネジ	平座金みがき丸付 M4 ネジ DIN レールでの取付け可、6 方向取付け可
適用 DIN レール	TH35-7.5Fe, TH35-7.5AI (JIS C 2812に準拠)
電線	銅線
材質	75°C以上
温度定格	

\* 端子台に取り付ける圧着端子の適合品は、上記を参照してください。  
使用する圧着端子に適合した電線を使用し、適合端子でトルクで取り付けてください。UL認定品の圧着端子を使用し、圧着の際はメーカー推奨の工具を使用してください。

## 3. Specifications

Item	Description
Number of output points	8 points
Isolation method	Photocoupler
Rated load voltage	12/24VDC (ripple ratio: within 5%)
Operating load voltage range	10.2 to 26.4VDC
Max. load current	0.5A/point, 2.4A/common
Max. inrush current	1.0A, 10ms or less
Leakage current at OFF	0.25mA or lower
Max. voltage drop at ON	0.3VDC or lower (TYP.) 0.5A, 0.6VDC or lower (MAX.) 0.5A
Output type	Sink type
Protection function	Overload protection, overvoltage protection, overheat protection
Response time	OFF→ON 0.5ms or less ON→OFF 1.5ms or less (resistive load)
External power supply for output part	Voltage 12/24VDC (ripple ratio: within 5%) (allowable voltage range 10.2 to 26.4VDC) Current 15mA or lower (TYP. 24VDC/common), excluding external load current
Surge suppressor	Zener diode
Wiring method for common	8 points/common (1-wire, terminal block type)
Number of occupied stations	32-point assignment/station (8 points used)
Module power supply	Voltage 24VDC (ripple ratio: within 5%) (allowable voltage range 20.4 to 26.4VDC) Current 15mA or lower (at 24VDC and all points ON)
Noise immunity	Noise range 500Vp-p, noise width 1μs, noise frequency 20Hz to 60Hz (DC type noise simulator condition)
Withstand voltage	500VAC for 1 minute between all DC external terminals and ground
Insulation resistance	10MΩ or higher between all DC external terminals and ground (500VDC insulation resistance tester)
Protection degree	IP2X
Weight	0.14kg
External connection system	Communication part module power supply part I/O power supply part, I/O part
Applicable solderless terminal	7-point two-piece terminal block [Transmission circuit, module power supply, FG] M3×5.2 screw (tightening torque range: 0.59 to 0.88N·m) Applicable solderless terminal: 2 or less
Module mounting screw	10-point direct-mount terminal block [I/O power supply, I/O signal] M3×5.2 screw (tightening torque range: 0.59 to 0.88N·m) Applicable solderless terminal: 2 or less
Wire	M4 screw with plain washer finished round (tightening torque range: 0.78 to 1.08N·m) Mountable with a DIN rail in 6 orientations

\* For applicable solderless terminals connected to the terminal block, refer to the table above. Use applicable wires for the solderless terminals and fix them with an appropriate tightening torque. Use UL listed solderless terminals and, for crimping, use a tool recommended by their manufacturer.



## 4. 改正中国 RoHS による電器電子製品中の有害物質使用制限表

「电器电子产品有害物质限制使用标识要求」の表示方式



Note: This symbol mark is for China only.

含有有害物质的名称、含有量、含有部品

本产品中所含有的有害物质的名称、含有量、含有部品如下表所示。

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质
印刷基板	铅 (Pb) ○ ○ ○ ○ ○ ○
外壳	汞 (Hg) ○ ○ ○ ○ ○ ○
	镉 (Cd) ○ ○ ○ ○ ○ ○
	六价铬 (Cr(VI)) ○ ○ ○ ○ ○ ○
	多溴联苯 (PBB) ○ ○ ○ ○ ○ ○
	多溴二苯醚 (PBDE) ○ ○ ○ ○ ○ ○

本表格依据SJ/T 11364 的规定编制。

○: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T 26572 规定的限量要求以下。

×: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572 规定的限量要求。

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

HEAD OFFICE: TOKYO BLDG., 2-7-3, MARUNOUCHI, CHYODA-KU, TOKYO 100-8310, JAPAN  
NAGOYA WORKS: 1-14, YADA-MINAMI 5-CHOME, HIGASHI-KU, NAGOYA 461-8670, JAPAN

AJ65SBTB1-8T